

Race reports - JBMXF大東建託シリーズ 第4戦 つくば大会 -

日時:2026年5月24日

天気:くもり

人数:14人

目標:優勝すること

結果:予選2-2-1 決勝1位

前日練習:公式練習20分×2回

当日練習:公式練習30分



【練習】

普段練習しているホームコースに比べて、このコースは距離が長く体力が心配だったため、前日練習では長い距離を走って、後半でのパフォーマンスが落ちないように練習しようと思いました。

(前日公式練習1回目)

1本目は身体を慣らすためにゆっくり体を大きく動かして走りました。

2本目以降はストレート2本分を中心にコーナーと繋げて走る練習をしました。

(前日公式練習2回目)

2回目はストレート3本分の距離を3回走り、長い距離を实际走って試みるのこなし方やラインの確認を行いました。

前日練習を終えて、体力の不安を解消できたので、当日は細かい部分の最終確認をしてレースに挑みたいと思いました。



(当日公式練習)

前日練習で、第一ストレートの1個目の所でこのコースをホームトラックにしているライバルに追いつかれたり差が広がっていると思ったので、そのこなし方を色々試しながら練習しました。練習を終えてもまだしっくりはきてなかったのですが、予選のうちにうまく合わせられるようにと気持ちを切り替えレースに挑みました。

【レース】

1本目

スタートはうまくいきましたが、第一ストレートの1個目のこなしでミスをしてしまい、第一ストレートで前に出ることができませんでした。

その後も巻き返そうとしましたが、第3ストレートの真ん中でロール（前輪を上げてコブを越えるスキル）する際に前輪が上がり過ぎて減速してしまったことで、ゴールまで巻き返すことができず、2位でゴールしました。

2本目

1本目のミスを修正しよう意識して挑みましたが、今回も第1ストレートの1個目で同じようにミスをしてしまいました。2本目も1本目と同じ展開になってしまいました。2位で第1コーナーを立ち上がった時今回は抜きに行くのではなく、後ろをぴったりついて走ろうと思いました。その後はミスなくこなし、ゴールまで1位の選手にぴったり後ろをついていくことができました。



1本目も2本目も第一ストレートの1個目で全く同じミスをしてしまったので、まだ新しいこなし方はできないと判断し、3本目からは今までのこなし方で行こうと思いました。

3本目

3本目はとにかく前に出ることだけを意識してレースに挑みました。第一ストレートの1個目は今までの慣れたこなし方でミスなく、1位で第1コーナーを立ち上がりました。第二ストレートは上手くスピードに乗せたままこなしましたが、1本目と同じく第3ストレートの真ん中でミスをして、少し減速してしまいました。すぐ後ろについてきている感覚があったので、最終コーナーで抜かれにくいように相手が抜きにくいラインで走行し、1位をでゴールまでキープすることができました。



決勝

予選の3本全てスタートからゴールまでミスをせずに走り切ったのがなかったので、決勝では予選の時以上に集中して、一つ一つ丁寧にと言う意識で挑みました。その集中力のおかげか、スタートはこの日で1番良いスタートが決まりました。僕の隣のゲートに、このコースがホームトラックのライバルがいて、スタートの瞬間に、その子がミスしたのが目に入りました。

その時に、僕の後を走るのがその子ではないので、抜かれない走りではなくスピードが1番乗るラインで走ればゴールまで逃げ切れると思い、そうしようと考えていました。しかし、第一コーナーを曲がった瞬間、後ろの選手のタイヤの音が、そのライバルの子しかありえないと思ったので、すぐに抜かれない走りをしよう意識を切り替えました。第2,3ストレートをミスなくこなし最終コーナーを曲がった時にその子が見えましたが、最終コーナーを曲がる前に、相手が抜きにくくスピードにも乗りにくくなるようなラインで相手を抑え、そのまま1位でゴールしました。

【レースを終えて】

今回のレースは予選の1本目と2本目で2位を走りました。

いつもは予選の1本目から決勝まで全て1位で走る展開がほとんどだったので、やばい負けしてしまうかもという焦りが少しありましたが、3本目から気持ちを立て直し、結果的に優勝という結果を勝ち取れたのでよかったです。



僕は後ろから走るのが苦手なので、プラスに考えればレースという中で1本目と2本目も後ろを走る経験ができたことは良かったと思います。また、そういう苦しい展開から立て直して勝ちに繋がられたこともすごく良い自信になりました。

次のレースはオーストラリアのブリスベンで行われる世界選手権です。日本人男子史上初めての世界選手権複数回優勝を目指して頑張ります！

